

開館時間：10時～18時  
(中央館は火～金：20時)  
休館日：毎週月曜日、  
年末年始、その他臨時休館  
(分館は国民の祝日・休日)

# としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118 (三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716  
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066 (大江分館) TEL・FAX 56-1017

## 冬に楽しく大活躍のだいこん!

だいこんは古くから日本の生活になじみのある野菜で、日本最古の書物といわれる『古事記』にも出てきます。土の中でたくましく育つ白い根は、生命力を感じさせる特別なものとして大切にされ、だいこんにかかわる祭りや行事は今も全国で行われています。1月7日におかゆに入れて食べる春の七草の一つ「すずしろ」はだいこんの別の名前です。

だいこんが実っても取らずにそのまま育てると、かわいい花が咲きます。菜の花と呼ばれる同じアブラナ科の植物とよく似た花ですが、色は白やうすい紫色です。



### ◆参考にした本◆

#### 『まるごとだいこん』

八田 尚子／構成・文、野村 まり子／構成・絵、大竹 道茂／監修、絵本塾出版

#### 『ダイコンの絵本』

ささき ひさし／へん、つちはし としこ／え、農山漁村文化協会

#### 『育てよう！食べよう！野菜づくりの本 5』

：だいこん・にんじん・たまねぎ』

小菅 知三／監修、こどもくらぶ／編・著、

こどもくらぶ編集部／編・著、堀江 ひろ子／料理指導、ポプラ社

#### 『やさしいノート』

いわさ ゆうこ／作、文化出版局

## 図書館のお休みのお知らせ

### 年末年始

【中央館】 令和2年12月28日(月)～令和3年1月4日(月)

【三和・夜久野・大江分館】

令和2年12月28日(月)～令和3年1月5日(火)

### 蔵書点検(2月)

蔵書点検は、一年に一度、図書館の本を点検するための期間です。

【中央館】 令和3年2月15日(月)～令和3年2月19日(金)

【三和・夜久野・大江分館】

令和3年2月3日(水)、令和3年2月4日(木)



自分の気持ちが相手に伝わり理解し合えるって最高ですね。伝えることの大切さを教えてくれる、そんな本を紹介します。

### 『A I ロボット、ひと月貸します!』 (木内 南緒／作、岩崎書店)

未来科学研究所の所長さんが貸してくれた「A I ロボット」。ぼくにそっくりのロボット。最初は、いろいろなことをやらせてもらえてうれしかったけど、ぼくはだんだん不安になってきた。

心の通うはずのないロボットとの確かな心の交流を描いた、胸が熱くなるものがたり物語。

## 本の寄贈 国際ソロプチミスト福知山様より

子どもたちへの「クリスマスプレゼント」として、今年も図書館中央館にたくさん本を寄贈していただきました。平成3年から毎年連続で30回目となります。今年度は「社会の多様性を考える」をテーマにした、児童書や絵本をいただきました。



### 『きみにありがとうのおくりもの』 (宮野 聡子／作・絵、教育画劇)

森のはずれになかよくくらす、元気なこりすとのおんぼりやのくまくん。せんたく・そうじはこりすが、やさい・花の手入れはくまくんが担当です。おたがいの仕事ぶりに気づき…。

ふんわりと温かい気持ちになるお話です。

### 『なんかヘンだを手紙で伝える』 (村中 李衣／作、玉川大学出版部)

小学校5年生の佳奈と一緒に、「手紙を書く」レッスンを体験しませんか。「それってなんかヘン」そんなモヤモヤした気持ちを、手紙で相手に伝える方法を教えます。

気持ちを正直に伝えたら、最後は握手がいいですね。

# 児童おすすめ本

## 『ありがとう、アーモ!』

(オーグ・モーラ/文・絵 鈴木出版)

アーモはいま、夕ごはんのシチューをつくっているところ。とりとりとろとろ特製シチュー。そのおいしそうなおいにつられて、アーモの家に近所のひとたちがつぎつぎやってきて…。  
おもいやりと愛にみちた、あたたかいおはなし。

## 『ココロ屋 つむぎのなやみ』

(梨屋 アリエ/作, 文研出版)

ちかこに意地悪されて、負けたくないと思ったつむぎは、ココロ屋で自分のココロと「意地悪なココロ」を入れかえてもらいます。すると、友達、お母さん、妹にまで意地悪をしてしまい…。  
自分のココロに気づける本。「ココロ屋」第2弾。

## 『宇宙のがっこう』

(JAXA宇宙教育センター/監修, NHK出版)

ある日突然、修学旅行で宇宙に行くことになったソラたち。みんなは期待と不安で一杯。そこで宇宙のことを知るためにJAXA(宇宙航空研究開発機構)の特別講習を受けることに…。いろいろな発見をしながら、ナゾだらけの宇宙のことを楽しく深く学べる一冊。

## 『こどもSDGs』

(秋山 宏次郎/監修, バウンド/著, カンゼン)

このままでは地球があぶない! 全世界の人たちが、人間らしく生き続けられるように、国連が2030年の達成に向けて定めた17の目標がSDGsです。SDGsの基本的な事を説明し、より良い未来につながるようには私たちがどう考え、行動していくべきかを紹介します。

# ティーンズおすすめ本

## 『団地のコトリ』

(八東 澄子/著, ポプラ社)

母と団地で二人暮らしをしている中学3年生の美月。ある日、美月が飼っているインコが逃げ出し、階下に住む柴田のじいちゃんの部屋の窓辺に挟まってしまった。助けてもらおうと声をかけるが、一人暮らしであるはずのその部屋から、女の子の気配がして…。

## 『ぼくだけのぶちまけ日記』

(スーザン・ニールセン/作, 岩波書店)

兄が起こした事件をきっかけに、引っ越した町でひっそり暮らすことになった13歳のヘンリー。だが、新しい友だちやアパートの住人たちが、なぜかかまってきて、まったく静かに暮らせない! 心に傷を抱えた少年の、誰にも見せない本音だらけのぶちまけ日記。

## 『無限の中心で』

(まはら 三桃/著, 講談社)

とわは、ピンチヒッターで数学研究部(数研)の取材に出かけ、最近部で起きているという「木曜日のミステリー」に遭遇する。月曜日に数研が解き残した問題を置いて帰ると、次の活動日である木曜日に解答されているのだ。とわは数研メンバーと、その謎に迫っていく。

## 『捨てられる食べものたち』

(井出 留美/著, 旬報社)

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。今、地球上ではたくさんの食品が捨てられています。なぜ、このような事が起こるのか? 私たちにできることは? いままで知らなかった食の問題について知ることが出来る一冊です。